

ブラジルとポルトガルの歴史と文化:オリヴェイラ・リマ・コレクション
**Brazilian and Portuguese History and Culture:
 The Oliveira Lima Library**

センゲージ ラーニング株式会社

本データベースは、ブラジルの外交官、オリヴェイラ・リマが蒐集した主としてポルトガル語の書物とパンフレット約 6,400 冊を原本に忠実に電子的に再現、全文検索を可能にしたものです。

ブラジル・ポルトガル文化圏の歴史と文化を現在に甦らせる画期的な電子リソースです。

◆オリヴェイラ・リマとは◆

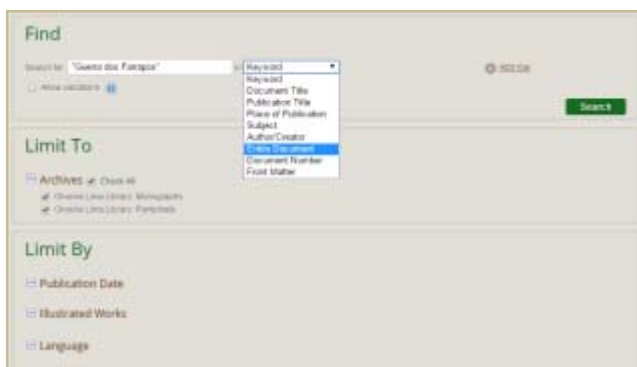
マノエル・ド・オリヴェイラ・リマはブラジルの外交官、ジャーナリスト、歴史家、書物蒐集家です。1867 年に生まれ、ポルトガルで教育を受けたオリヴェイラは、ブラジルとポルトガル文化の研究に生涯をささげました。外交官として、リスボン、ベルリン、ロンドン、ブリュッセル、ストックホルムのヨーロッパ諸国の首都のほか、ワシントン、東京、カラカスに赴任しました。

ヨーロッパ諸国や南北アメリカの都市に赴任したことにより、オリヴェイラは書物、手稿、美術作品など、ブラジル、ポルトガルを含むイベロ・アメリカ世界を研究するための資料を蒐集するための絶好の機会を手にすることができました。外交官を退任後、オリヴェイラはロンドンに在住、その後、ハーバート大学で客員教授を務めました。ブラジルに帰国後、カトリック・アメリカ大学に書簡を送り、蒐集したコレクションの寄贈を申し出ます。その際、コレクションは大学図書館からは独立した形で管理し、オリヴェイラ自身を初代ライブラリアンに任命することを条件にしました。大学は即座に申し出を受諾しましたが、第一次世界大戦に阻まれ、コレクションがワシントンに到着するのは 1920 年になりました。受け入れから 4 年後の 1924 年、イベロ・アメリカン・ライブラリーの名前でコレクションは公開されました。その後も、コレクションは拡充され、オリヴェイラが逝去する 1928 年までに、4 万巻の冊数(そのうち 4,000 冊はパンフレット)を擁する分量に達しました。

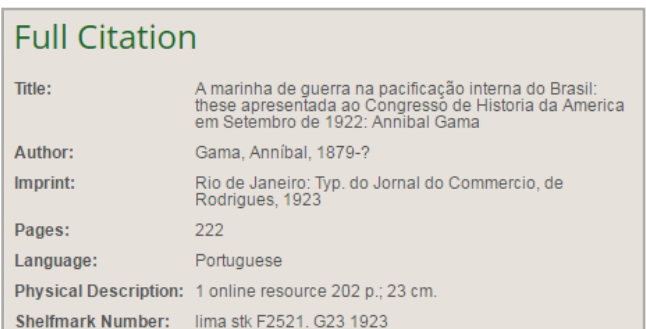
※本データベースでは、50 ページ以下の資料をパンフレット、51 ページ以上の資料を書籍として分類しています。

◆コレクションの概要◆

本データベースに搭載される約 6,400 冊の書籍、パンフレットのうち、最古のものは 16 世紀初頭、最新のものは 20 世紀後半のもので、収録期間は 450 年間に亘りますが、大半を占めるのは 1800 年代から 1920 年代にかけての 130 年間のものです(この期間に出版されたものの冊数は約 5,800 冊)。



詳細検索画面



タイトル、著者、著者生没年、出版地、出版社、出版年、ページ数、原本所蔵機関、配架番号等、タイトル毎に書誌情報が完備

ポルトガルの植民地だったブラジルでは、18世紀の短期間を除き、宗主国の国王によって印刷が禁止されていたため、18世紀末に至るまでブラジルの地で出版された印刷物はほとんど存在しません(本コレクションに収録されている1800年以前に刊行された約550冊の印刷物は、リスボン、コインブラ、マドリッド、バルセロナ、ロンドン、ベネチア、パリ、ジュネーヴ、アムステルダム、ロンドンなど、ヨーロッパの諸都市で刊行されたものです)。

19世紀初頭、状況が変わります。ナポレオンがイベリア半島に侵攻する中で、ポルトガル王室はブラジルに亡命、1808年、リオデジャネイロをポルトガルの首都に定めます。それに伴い、印刷術が公式にブラジルに導入されました。その後、1822年に立憲君主制国家として独立を果たしたブラジルでは、植民地から独立国家への政治体制の変革が活版印刷の導入による出版革命とシンクロするという、歴史的に見ても稀有な状況が生み出され、政治的演説、政治的布告等がパンフレットの形で発刊されました。印刷術の導入により、リオデジャネイロ、サルヴァドール・ダ・バイーア、レシフェ、ベレン、サンパウロ等を拠点として、出版活動が繁栄しました。本コレクションは、主要都市で出版されたものだけでなく、地方都市で出版された稀少な文献も収録しています。

収録される約2,800冊のパンフレットのうち、大半のものは、ブラジル人著者によるブラジルに関するものです。多くはブラジルもしくはポルトガルで出版されました。ブラジル以外では、アルゼンチン、オーストリア、ベルギー、フランス、ドイツ、イギリス、アメリカ合衆国、ウルグアイで出版されたものが含まれます。

扱われている主題は広範囲に及びますが、中でも量的に見て最大の主題が歴史、政治、文学で、その他には、社会、経済、旅行、農業、移民、先住民、宗教、女性の権利、伝記、外交、法、教育、新聞、医療、公衆衛生、鉄道、港湾、国際関係、地理、地質、芸術、学術協会、汎アメリカ主義、実証主義、第一次大戦、ポルトガル・スペイン帝国、米西戦争、文化等が取り上げられています。

これらのパンフレットが出版された時代は18世紀末から1980年代までの200年に及びますが、取り上げられている主題で見ると、スペイン、ポルトガルが新大陸を征服した16世紀の初頭から1930年代まで、400年以上に亘ります。内容的には、演説、政令、教会の説教、公共の場で流布された詩、演劇、コンサート・演劇プログラム、葬儀の場での弔辞、新聞・雑誌編集部への投書、新聞・雑誌記事で構成されています。

ブラジルの初期出版時代である1808年から1830年の間に出版された約100点のパンフレットも収録されています。パラ州におけるカバナージェンの反乱(1835-1840)、リオグランデ・ド・スル州とサンタ・カタリーナ州におけるファラーポス革命(1835-1845)、ペルナンブーコにおけるプライエイラの反乱(1848-1849)など、帝政時代の反乱に関する同時代の資料も収録されています。

本コレクションには約3,700冊の書籍も収録されています。これらの書籍は、ポルトガル植民地時代から独立を経て帝政、共和政時代のブラジルの政治、経済、社会、文化を、政府文書、学術資料、文学作品を通して照らし出します。最古の資料には、キリスト教伝道文書における、伝道の地の土地、習俗、人々に関する記述も含まれています。言語事典、法律文書、科学者や地理学者の報告書、文学作品など、ブラジルの歴史的発展とブラジル人知識人の知的活動の足跡を辿る上で欠かすことの出来ない資料を多数収録しています。

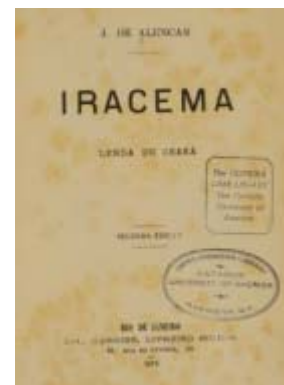
- ・ **期間:**16世紀初頭から20世紀後半
- ・ **収録言語:**ポルトガル語、スペイン語、英語、フランス語、ドイツ語、ラテン語、イタリア語
- ・ **出版地:**
 - ▶ **ブラジル:**リオデジャネイロ、レイフェ、ベレン、サンパウロ、バイーア、マラニオン、サントス、マナウス、ポルト・アレグレ、パライバ、ペルナンブーコ、サルヴァドール・ダ・バイーア、ペトロポリス、ゴイアニア、フロリアノーポリス、クリチバ、ベロオリゾンテ、アラカジュ、フォルタレザ、ナタール、カンピーナス、サンレオポルド、ジョインヴィレ、マセイオ、サン・ジョアン・デル・レイ
 - ▶ **ポルトガル:**リスボン、ポルト、コインブラ、ベロオリゾンテ、ブラガ、デステーロ、エヴォラ、ヴィラ・ヴィソーザ、ラブラス、フンシャル

- ▶ スペイン: マドリード、バルセロナ
- ▶ アルゼンチン: ブエノス・アイレス
- ▶ フランス: パリ、リヨン、ダンケルク、アルジャントユイユ、ラ・ロシェル、ナント、ルーアン
- ▶ ベルギー: ルーヴアン、アントウェルペン、リエージュ、ブリュッセル
- ▶ オランダ: アムステルダム、ライデン、デルフト、レーワルデン、ハーグ、ユトレヒト、ミデルブルフ
- ▶ スイス: ジュネーヴ、ローザンヌ
- ▶ イギリス: ロンドン
- ▶ イタリア: ベネチア、ローマ、ナポリ
- ▶ ドイツ: フランクフルト・アム・マイン、ニュルンベルク、ミュンヘン、マインツ
- ▶ アメリカ: ニューヨーク、ワシントン
- ▶ 日本: 東京

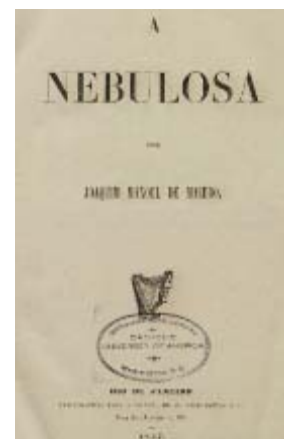
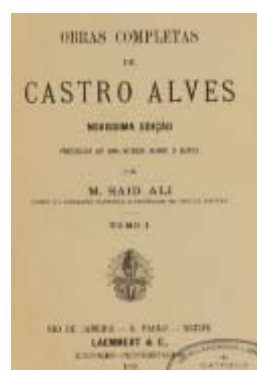
◆収録著者例◆

・ 作家

- ▶ ジョゼ・デ・アレンカール (José Martiniano de Alencar)
- ▶ マリオ・デ・アレンカール (Mário de Alencar)
- ▶ マノエル・アントニオ・デ・アルメイダ (Manoel Antonio de Almeida)
- ▶ カストロ・アウヴェス (Castro Alves)
- ▶ グラサ・アラニーヤ (Graça Aranha)
- ▶ マシャード・デ・アシス (Machado de Assis)
- ▶ アルイジオ・アゼヴェード (Aluizio Azevedo)
- ▶ リマ・バレット (Lima Barreto)
- ▶ オラーヴォ・ビラッキ (Olavo Brás Martins dos Guimarães Bilac)
- ▶ アントニオ・ペレイラ・デ・ソウザ・カルダス
(Antônio Pereira de Sousa Caldas)
- ▶ ライムンド・コレイア (Raymundo Correia)
- ▶ エウクリデス・ダ・クーニャ (Euclides da Cunha)
- ▶ ゴンサウヴェス・ディアス (Antônio Gonçalves Dias)
- ▶ ジョゼ・デ・サンタ・リタ・ドウラン
(José de Santa Rita Durão)
- ▶ オゾリオ・ドゥーケ・エストラーダ
(Osorio Duque-Estrada)
- ▶ バジリオ・ダ・ガーマ (José Basílio da Gama)
- ▶ トマス・アントーニオ・ゴンザーガ
(Tomás António Gonzaga)
- ▶ ベルナルド・ギマランイス (Bernaldo Guimarães)
- ▶ アルセウ・デ・アモロゾ・リマ (Alceu Amoroso Lima)
- ▶ モンテイロ・ロバート (Monteiro Lobato)
- ▶ ジョアキン・マヌエル・デ・マセード (Joaquim Manuel de Macedo)
- ▶ ゴンサウヴェス・デ・マガリャンイス (Domingos José Gonçalves de Magalhães)
- ▶ アルベルト・デ・オリヴェイラ (Alberto de Oliveira)



アレンカール『イラセマ』

マヌエル・デ・マセド
『ネブロサ』

カストロ・アウヴェス全集第1巻とアルヴェスの肖像画

- ラウル・ボンペイア (Raul Pompéia)
- マヌエル・デ・アラウージョ・ポルト=アレグレ (Manuel de Araújo Porto-Alegre)
- アルフレード・デスクラノル・トネ (Alfredo d'Escragnonne Taunay)
- フランクリン・タヴォラ (Franklin Távora)

政治家・外交官

- レオネル・アレンカール (Leonel Martiniano de Alencar)
- グラサ・アラニーヤ (Graça Aranha)
- グスタヴォ・バロソ (Gustavo Barroso)
- ジルベルト・フレイレ (Gilberto Freyre)
- ディオゴ・アントニオ・フェイジョ (Diogo Antônio Feijó)
- アレシャンドレ・デ・グスマン (Alexandre de Gusmão)
- サルヴァドール・デ・メンドンサ (Salvador de Mendonça)
- ラウロ・ミュラー (Lauro Müller)
- ジョアキン・ナブーコ (Joaquim Nabuco)
- リオ・ブランコ男爵ジョゼ・パラニーヨス (José Maria da Silva Paranhos)
- エピタシオ・ペソア (Epitácio Pessoa)
- フランシスコ・アドルフ・デ・ヴァルンハーゲン
(Francisco Adolfo de Varnhagen)

法律家

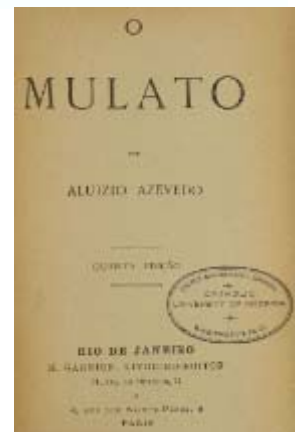
- アウグスト・テイシェイラ・デ・フレイタス (Augusto Teixeira de Freitas)
- ナブッコ・デ・アラウージョ (Nabuco de Araújo)
- エルクラーノ・マルコス・イングлез・デ・ソウザ
(Herculano Marcos Inglês de Souza)
- アントニオ・コエリョ・ロドリゲス (Antônio Coelho Rodrigues)
- クロービス・ベヴィラックア (Clóvis Bevilacqua)

ジャーナリスト

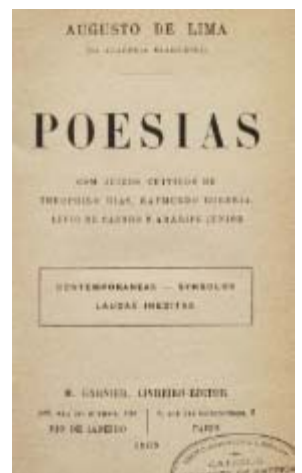
- メデイロス・エ・アルブケルケ (Medeiros e Albuquerque)
- ジョゼ・カルロス・ロドリゲス (José Carlos Rodrigues)
- ジョゼ・ド・パトロシニオ (José do Patrocínio)
- コルネリオ・ピレス (Cornélio Pires)
- ジョアン・ド・リオ (João do Rio)

科学者・技術者

- ジョアン・バルボーザ・ロドリゲス (João Barbosa Rodrigues)
- オズワルド・クルス (Oswaldo Cruz)
- ドミンゴス・ソアレス・フェレイラ・ペンナ (Domingos Soares Ferreira Penna)
- アンドレ・ピント・レボウサス (André Pinto Rebouças)
- テオドロ・サンパイオ (Teodoro Sampaio)



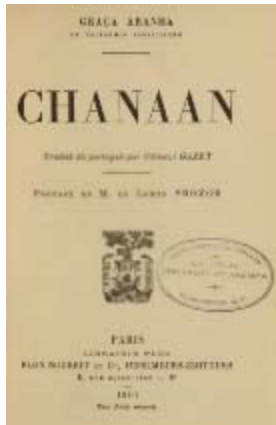
アゼヴェード『ムラート』



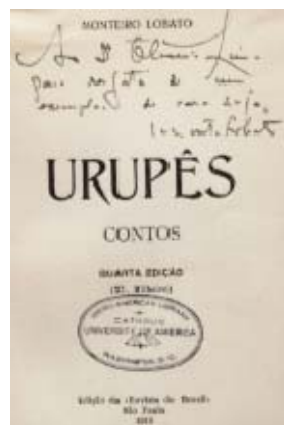
アウグスト・デ・リマ
『詩集』



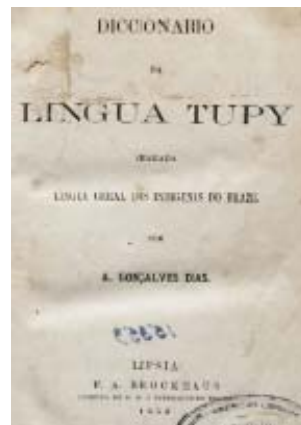
クーニャ
『カストロ・アウヴェスと
その時代』



グラサ・アラニーヤ
『カナアン』



モンテイロ・ロバート
『ウルペス』



ゴンサウヴェス・ディアス
『トウピ語辞典』



ジョアキン・マセード
『マンティラの女たち』



マシャード・デ・アシス
『ブラス・クーバス死後の回想』



アルフレード・トネ『ラグナ退却』と
トネの肖像画



ジルベルト・フレイレ
『19世紀半ばのブラジルにおける社会生活』



ジョアキン・ナブーコ
『奴隷制廃止論』



ブラジル民法典草案
(上院特別委員会)



ブラジル民法典
(クローヴィス・ベヴィラックア コンメンタール)

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 データベース営業部
(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。